

太宰府発祥

新元号「令和」の由来となった万葉集序文

初春令月、気淑風和

梅披鏡前之粉、蘭薰珮後之香

（大伴旅人）

おおとものたびと

初春しよしゆんの令月れいげつにして、気淑きよく風和かぜやすらぎ

梅うめは鏡前きやうぜんの粉こを披ひらき、蘭らんは珮後はいごの香かうを薰かおらす

